

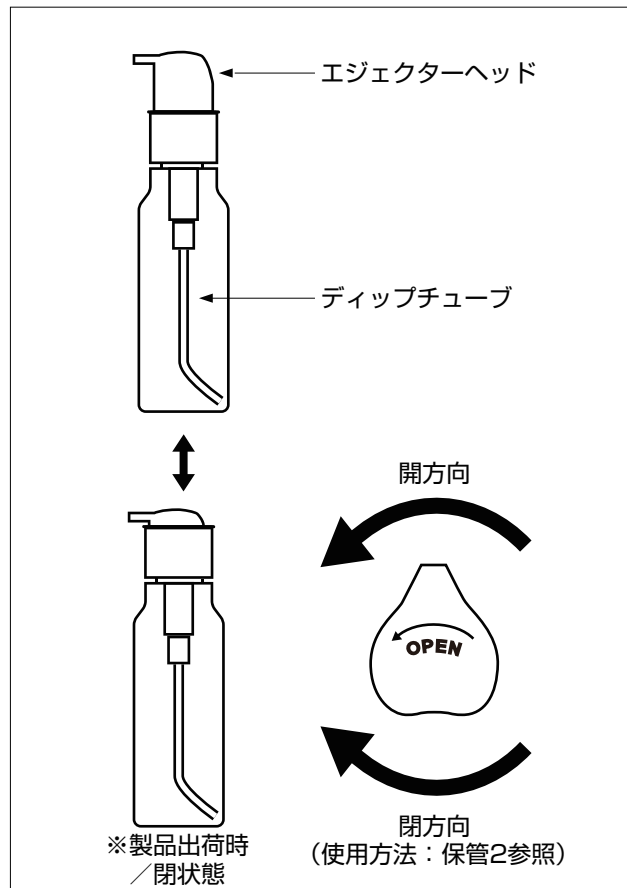
硬化促進剤 MSアクセル

MSアクセルは変成シリコン樹脂系接着剤に混ぜて使用することで接着剤の硬化を促進します。変成シリコン樹脂系下地調整塗材での下地調整や、変成シリコン樹脂系接着剤でのタイル張りの工期を短縮できます。



水系硬化剤

容 量	包装形態	梱包単位
400g	プラスチック容器	1



用 途

対象接着剤	変成シリコン樹脂系接着剤※
適 用	混合する変成シリコン系樹脂系接着剤の適用箇所・適用仕上げ材・下地の種類に準ずる。

※対象接着剤は弊社営業にお問い合わせください。

性 質

外 観	無色半透明 粘稠液
-----	-----------

標準使用量

MEベース フレックスマルチ	8～10g/接着剤2kg (ポンププッシュ2回分)
MSフロアー10	4～5g/接着剤2kg (ポンププッシュ1回分)

促進効果

●下地調整塗材用途の場合

対象下地調整塗材	温度	通常	促進剤添加※
MEベース 硬化時間 (5mm厚塗布)	5℃	3日	16時間
	23℃	1日	4時間
	35℃		
フレックスマルチ 硬化時間 (5mm厚塗布)	5℃	3日	16時間
	23℃	1日	4時間
	35℃		

※促進剤添加の場合、一度の塗布で10mm厚まで施工可能です。
(硬化時間は5mm施工時と同等です)

●接着剤用途の場合

対象接着剤	温度	通常	促進剤添加
フレックスマルチ 張付け可能時間	5℃	90分	90分
	23℃	60分	60分
	35℃	30分	30分
フレックスマルチ 目地詰め可能時間	5℃	3日	27時間
	23℃	1日	7時間
	35℃	1日	4時間
MSフロアー10 張付け可能時間	5℃	40分	40分
	23℃	30分	10分
	35℃	20分	添加不可※
MSフロアー10 目地詰め可能時間	5℃	3日	24時間
	23℃	1日	4時間
	35℃	1日	添加不可※

※MSフロアー10の促進剤添加可能温度は23℃以下です。

使用方法

【計量】

変成シリコーン系接着剤2kgを塗板等に取り出し、所定のプッシュ数を添加してください。

【混合】

- 1.コテ等でムラが無くなるまで十分に混合してください。
- 2.混合した接着剤は速やかに使用してください。

【使用上の注意事項】

- 製品開封後は吐出量を一定にするため、エジェクターヘッドのプッシュを3回以上行ってください。その際、内容物が吐出されるためウエス等に含ませて廃棄して下さい。
- エジェクターヘッドをプッシュする際は必ず最後まで押し込んで下さい。
- 変成シリコーン系接着剤2kgに対し必ず所定のプッシュを超える添加をしないで下さい。接着性能低下の原因となります。**
- 添加可能温度の設定がある製品には、絶対に上限を超える温度での使用をしないでください。接着性能低下の原因となります。**
- ディップチューブの先端が液面に浸かっている状態でご使用ください。
※エジェクターヘッドを回転する事により、ディップチューブの向きを調整することが出来ます。

【保管】

- 1.エジェクターヘッドを開封して保管する場合、外圧により液が漏出する恐れがあるため、付属の箱に格納してください。
- 2.エジェクターヘッドを閉めて保管する場合、ディップチューブの先端が液面に浸かっている状態で、エジェクターヘッドを最後まで押し込んだ状態で閉方向に回転させてください。その際、内容物が吐出されるためウエス等に含ませて廃棄して下さい。
※接着剤への使用の最後に閉めることで無駄なくお使いいただけます。
- 3.エジェクターヘッドを閉める際、強く閉めすぎないでください。破損の原因となります。

取り扱い上の注意事項

MSアクセルを使用する前に、下記の項目に注意して下さい。

- 対象接着剤以外には、絶対に使用しないで下さい。
- 5～35℃の環境で使用・保管して下さい。
(0℃以下では凍結することがあります)
- 性状異常の原因となりますので、絶対に湯煎しないでください。
- 取扱い場所及び作業場所は換気を行って下さい。又、施工後も接着剤が硬化するまで通常の換気（日常生活の程度、朝夕1～2時間）を行って下さい。
- 使用時は必要に応じて保護具を着用して下さい。
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、手洗い・ウガイを行って下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚や衣服に付いた時は洗い落として下さい。
- 食品用器具、容器等には使用しないで下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は、当社営業担当にお問い合わせ頂るか、安全データシート（SDS）又はカタログをご参照下さい。

●掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。

●本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされますようお願いいたします。

株式会社 **タイルメント** 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区宿跡町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900

東京支店 TEL: 03-3616-2201
FAX: 03-3616-3711
大阪支店 TEL: 06-6386-6141
FAX: 06-6386-6146

名古屋支店 TEL: 052-411-3511
FAX: 052-411-3516
札幌営業所 TEL: 011-717-5216
FAX: 011-717-5217

仙台営業所 TEL: 022-262-5751
FAX: 022-262-5753
横浜営業所 TEL: 045-242-7441
FAX: 045-242-8136

広島営業所 TEL: 082-231-1200
FAX: 082-231-7666
福岡営業所 TEL: 092-451-6503
FAX: 092-481-0621

北陸営業所 TEL: 076-237-7480
FAX: 076-237-6478

大垣工場 TEL: 0584-89-2225
FAX: 0584-89-2090
技術開発センター FAX: 0584-89-8111
FAX: 0584-87-0010

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

関連企業 ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION.,LTD.